

1986年 第16回高齢者大集会



とき 9月15日
ところ 川崎市体育館
主催 健康で安心できる高齢期をつくる大行動実行委員会

総合的高齢期保障制度確立へ

神奈川県職労退職者

厚生会報

No. 5



中高年部用

今年の9月15日の全国高齢者大集会は場所を東京から川崎市体育館に移して、全国から約六千名の参加を得て盛大に行われた。厳しい世相を反映してか、あいにくのドンシャリ、雨に濡れ乍ら会場に着けば、一変して高齢者ハワード会場は熱気ムンムン!!

集会は、NHKの朝のお達者くらぶ司会の井鍋正良アナウンサーと講師の神山陽子の軽妙な司会コンビで進められた。地元伊藤市長の歓迎あいさつのもと、主催者を代表して、総評の黒川議長が、自民党圧勝のあと、予想される厳しい状況下では、高齢者が手を携えて、要求実現に向けて統一と団結を訴えるべきとの基調報告がなされた。

次いで、日本社会党、公明党、日本共産党、社民連各党代表挨拶のあと、たのしいアトラクションが繰り上げられた。

一流タレント、盛沢山の
楽しいアトラクション。

あなたも来年参加で一日
を有意義に……

アトラクションは、民謡お国めぐり、(唄といちんさ、講談) 神山陽子、お笑を誘う井鍋アナウンサーの会場インタビュ、全国高退連・全国老地連のハワードによる。ユーモラスな、私たちの運動紹介、江戸家小猫の激励物まね演芸、そして締めくくりに、三沢あけみのお楽しみビックステージで、大集会とはいえ、肩のこら

(次頁へつづく)

会費納入のお願い

会費の納入をお願いします。

◎昭和61年度 年会費 二、〇〇〇円
 ◎終身会費 二〇、〇〇〇円
 (但し入会金一、〇〇〇円は別)

終身会費切替えの方は、

昭和60年度入会の方は(年会費分

二、〇〇〇円)を差引いた

一八、〇〇〇円

横浜銀行厚労支店振替口座をご利用ください。
 普通預金口座番号 八七八、一三九

加入のすすめ

県職労は退職後も皆さんの
お手伝いをさせていただきます。

いよ、退職者にも冬の季節の到来です。年金法の改正により年金額の引下げ、ないしストップ!!

老人医療も有料化、それと保険以外の費用の激増など……

親睦だけの退職者会では力不足です。現役の人たちや、全国の仲間と一緒に中央政府や国会への働きかけが必要で

す。
 ◎会員には全労済の火災・生命・自動車共済や、県職労の顧問弁護士、公認会計士の相談など福利厚生事業が引き続き利用できます。

◎新しい時代の退職者会への先駆的役割を目指しています。

(前頁からつづく)
らない賑わいの大会であった。

閉会のあと、心温まる 懇親の集い

この集会には、われわれ、県職労からは、鈴木委員長、藤島書記、退職者厚生会からは二十余名、中高部からは、明田部長ほか多数の参加あり、総数約三十名、新しい黄色の退職者厚生会の旗の下、会場の一角に陣取って閉会まで交流の輪を組んだ。

集会が閉会したあと、鈴木委員長、明田中高年部長などのご好意で駅近くの中華料理店で、さ、やか乍ら、懇親会の席を設けていたゞき、心温まる会員相互の親睦がはかられたのである。この頃になると雨も漸くあがり、街も新鮮な空気がたゞよっていた。



黄色い会旗の下で

9.16 地公労 高齢者集會

政府に対する交渉報告 現実課題討議

東京・一ツ橋・教育会館
ホール

毎年九月十六日に中央で開会される、この集会は、9・15全国高齢者大集會を機に、これに引続いて年金や高齢者社会問題がますます重要視されるなかで、地公労統一して退職者會を中心に運動を推進しようとするところにある。

會場の千代田区一ツ橋、教育会館ホールには、自治労をはじめ日教組、都市交、全水道、日高教、都労連の六団体、約六百名が参集し、午後一時開會、議長団選出のあと、主催者あいさつは地公労三役、来賓あいさつは総評代表と、社会党加藤万吉代議士(地方行政部長)、とつゞいたあと、平沢共済対策委員長の基調報告と午前中に各交渉団代表による政府交渉団(対自治、厚生、文部各省)報告が、壁の厚い政府の姿勢を具体例で説明がなされた。ついで集會の決意表明、年金課税強化、年金制度改悪に対する反対特別決議(案)、老人保健法改悪案に反対する

特別決議(案)を可決したあと集會宣言(案)採択、スローガン採択などを経て閉会したが、主催者が速懐しているとおり、自民党圧勝のあとだけに今一つ活気が盛り上らなかつた感があつた。要は会員の自覚と、形式的に陥らないような運営方針がのぞまれるが、この會をみた感じでは後者については主催者はよくやつていてと見てとれた。



老人保健法改正の攻防の外で

患者や家族泣かせの 保険外負担になぜメスが 入らないのか!

おむつ代・お世話料・管理協力費……老人が入院すると、こんな正体不明の保険外自己負担がごっそりついてくる。

その費用は全国平均一人当り一ヶ月二万七千五百円。しかし首都圏だけで見ると、サツトこの倍額四万九千七百円にもなるという。これは厚生省が全国レベルで初めて行つた調査だが、この中には、差額ベットや付添看護料は含まれていない。負担の内訳は、おむつ代43%、お世話料20%、雑費14%、管理協力費7%、電気製品使用代4%など。

病院によって金額が異なるだけに実態把握がむづかしいというが、昨年千葉県の入院したA子さんの例をみると、十日間入院で、計五万五千余円請求され、内訳は差額ベット三万円、おむつ料九千七百円、協力費九千五百円、電気リース料五千円、その他は医療にかゝる処置である。

A子さんは付添看護料がなくてすんだが、付添看護料は普通で、一日八千円〜一万円といったところが多く、実際はこの調査以上かゝることは間違いない。

今国会で、老健法の攻防で、入院費一日三百円を五百円に、外来診療費用一ヶ月につき四百円が千円にという論議がこの高額の前では、どこか白々しい。

働く仲間のくらしを守る全労済

全労済は万一の時に備えて、働く仲間
の助け合いを目的に生協法にもとづいて
厚生省と各都道府県知事の認可をうけ、
自主的に運営されている生活協同組合で
す。この自主的な助け合い運動は、一九
五四年大阪で始まり、いまでは全国で一、
一〇〇万人の働く仲間が参加し、契約高
も九四兆円を超えるものになっています。

全労済は営利を目的としていませんか
ら、掛金は必要最少限の運営費以外、す
べて加入者のためにだけ使われています。

火災共済とは、

火災や風水害、それは、ある日突然に
やってくる。万一の災害にあっても、
あわてずに生活を再建できるよう、全労
済の火災共済は、安い掛金で大きな保障
をしています。あらゆる面で、とてもた
よりになる保障であることは、民間の火
災保険にくらべるとはつきりします。

例えば、火災共済の場合は、損害にあ
った住宅や家財と同程度度のを新たに
購入したり、もとのようにしたりするた
めの価額で保障されます。

年掛金八〇〇円で、一〇〇万円、最高

三、〇〇〇万円まで、これが火災共済の保
障です。さて、この火災共済は、八六年
六月一日から制度が一部改善され、加入
者の方に、そう有利なものになりました。
た。

鉄筋コンクリートの住宅について、一
口あたりの年掛金五〇円が四〇円に引き
下げられました。また、保障範囲も拡大
され、家財の損害や見舞費用、修理費用
など、新たに保障の範囲が広がりました。
従来、共済金の一〇％としていた臨時
費用を一五％に引上げ、同時にこれを共
済金と別枠で支払われる制度にしました。
そして「火災等」に限っていた臨時費用
の支払いを、風水害等の損害に対しても
支払われるようになりました。

そのほか、風水害等の被害の対象と
していなかったベランダなども対象に
含まれることになるなど、改善されてい
ます。

全労済の火災共済は、自分の家にお住
まいの方は、住宅と家財、両方に加え
て、借家・アパートなどにお住まい
の方は、家財に加入できます。

火災のほか、落雷や爆発、航空機の墜

落や車両のどびこみ、よその住
宅からの水もれなども保障、風
水害や地震による損害にも見舞
金が支払われます。

こんな安い掛金で、こんなに
有利な保障ができるのも、掛
金はすべて加入者のために使わ
れ、営利を目的としない組織
全労済ならではの、ということ
ですね。

退職者会加入者は、火災共
済のほか、自動車事故の保
障のマイカー共済、生命保
障の新希望共済の加入を取
り扱っております。

お問合せは、

全労済神奈川県本部

横浜支所

☎〇四五七三三三八四四

県職労

☎〇四五七三三三八四四

内線 七九五三まで

いざ、というとき大きな差。

●年800円で(鉄筋コンクリート)100万円の保障
(住宅は400円)



買いなおす価額で、保障されます。

火災共済は、被害にあったものと同程度のもの
を新たに購入または、修復するために必要な標準
価額で保障します。(再取得価額保障)

住宅の構造	1口あたり年掛金 (住宅・家財とも)	保 障 額
木造・ 木造モルタル	80円	10万円
鉄筋 コンクリート	40円	

最高限度 住宅 200口 2,000万円
家財 100口 1,000万円

保障の範囲



●鉄筋契約はさらに次の保障がプラス



全労済

会員通信

投稿ありがとうございます。みなさんの投稿をお待ちします。

『県職労退職者厚生会』に加入して……

新しい友人づくりを願う

池田 増次郎

退職後四ヶ年を経て3K(健康、経済、家庭)の悩みが全然皆無とは言えないが、努めて友人造りに懸命になっています。

退職者厚生会の皆さんの中から新しい友人を求めてこの願いを頭の中に画いてい

ます。家庭での温たかい精進の盾も勿論重大ですが、幅を外に求めて何等かの豊かさを育て、行きたく名目は趣味と銘打たずとも話し合いの可能な友達を求めたいのは私一人でもなさそう、退職後

俳句の会に連れ出されてから早くも十二〜三名の人達と友達として交遊することが出来て、町内会の老人会とは別な角度からの楽しみが殖えて退職前とは違って相当の明るさを獲り得たと自分は満足している現在です。更に退職者会の人達と一人でも友達が得られるならば幸甚なのです。人は誰しも直ぐに溶け込める人許りあると思いませんが、ある程度常識的な語り掛けで必ず共に友人造りが不可能と決めてしまう事もないと愚察しま

す。

取り付き難い人と雖も趣味を通じてでもその切っかけは出来ず自分の様な図々しい人間は例外として、旅行にしても小さい家庭内を刺激しない限り、ある共通の悩みを話し得る場合も期せずして生ずる事実を現在体験している次第です。

一方的に干渉したり、和やかさを破壊しない様に友情を確め合う友人同志は人生の最終段階としては仲々難かしく得難いものがあります。

年賀状から始めて、箱根一泊で旧交を温められた私は、厚生会から会員の詳しい友好データを得ることが出来れば今後横の会員つながりが一層やり易くなるものと考えています。設の中に閉じ籠りたがる年輩とあつては尚更自らを鞭打って他人に融合すべき心の奥行を広げて欲しいのです。小さい文庫本のやりとりから家庭の付き合となったA氏などお世辞かも知れませんが環境的に似通った点が「マッチ」したのか交友を喜んでいて呉れています。何か充分な環境裡の内には改めて他人を頼る事も考えないでしょうが、多少の縁も決して無駄な友人造りではないと思えます。常に控えて目で見て半面、天真爛漫で暮らしたいと願って老人と呼称されることを忌み嫌う友もいますがそれはそれで良く内面きつい証拠なのであり

ましよう、が少くとも周囲の人々からは優しいの長寿であつて欲しいものと愚察する次第です。

マナーがすべての老人とあつてみれば庭の小さい草花から孫の画まで気を遣うかと言え、決してそうではなく悠々たる風託せずのゴールでなくてはならず環境に染める自分であつても肩の張る程に細心の振る舞は必要ないと思うし外国為替にまで生活の中に経済問題が介入されている現在では、総てを忘れて呑気な老人となつても問題です。小さい旅先での嬉しい見聞が働いていた昔と比較したり想い出を暖めたる現在の自分等実のり豊かな時間を過ごしたいものです。無慾とまで行かすともマラソン同様にどうやら社会人の一人として完走したいものです。お便りをいたゞければ幸いです。

〒241 横浜市旭区今宿南町109-1 エンゼルハイム鶴ヶ峰210 Tel.045-1-954-4177

県職労退職者厚生会に加入して

岡本 一二

加入にふみきつた気持ち……
非常勤を退職し組合を抜けてから、国民が希む時流が、より人間の幸福を求めているか疑問に思え、相互扶助の精神が消え失せたように思えるからです。労組法もあり、対雇傭者との交渉その他、組合の必要性は誰でも認める処ですが、誰

が行なうかという、自民党三百余議席となつた今日の意識でとらえるならば若らば大樹の影ということになりましよう。私は幼児の頃から祖父、父が勤めていた海軍工廠の共済制度の下で育ちました。通帳と細長い角印で、諸物品から散髪まで出来、今も残る共済病院や、旬刊発行であつたのか「勤労新聞」、十六頁建の「家の光」を愛読したもので、互助精神を少年期から深く植え付けられた為でしょうか。

会費位は……手伝う事が出来れば……県に四十余年勤め退職後は三年の非常勤をしましたが、税金で養われている現職員の尊い共済年金掛金から年金を戴き、わずかな失業保険も戴き、どうにか老夫婦生計が立ち、社会還元税の税金も、人並の寄附金も出来、この退職者厚生会の会費負担もそう詰めた負担ではありません。労組を必要とする社会への金銭的奉仕として些少な事だと理解しています。

昨年県の老人大学に参加した時、児玉さんと会い、彼が退職者厚生会の役員として「年金」や、「医療費」等の問題に貴重な時間を使われていることを知り、私も無職となつた今、好きな文芸や撮影会で、フィルム会社やマスコミに儲けさせて、たまには十六耗の映写や、朗読奉仕、町会役員等収入にならない仕事にはげんでいますが、若干の余暇を厚生会のお手伝いに利用出来ればと思います。在職中も組合員の方々のご支持で県職労の役員と

なり組織基盤の薄い私はデモ要員として安保に、人勸確定にと国会から人事院、日比谷公園等の動員に参加させて戴きました。足だけはまだ達者なのでお役にたばと加入いたしました。

本部の方々、退職会の役員の方々のご努力に感謝しつつ、なおこの会が発展し、世の中の時流が少しでも老人、勤労者のためになるよう祈って拙い文をのらせて戴きます。

失礼いたしました。

「退職者の喜びと悩み」

S・O生

退職して早いもので早くも一年半余あつと言う間に過ぎ去りました。退職してみ分ったことは、本当の余暇が十二分にある事です。退職後暫くの間、気分的に足がバス停事務所(旧職場)へと向いていました。其の後は退屈の二字が押し寄せてイラ／＼の日が続きました。

このため気分転換に、散歩、また、今迄勤務していた事務所に顔を出して退屈の虫を押へてきました。だが、ここで悲しい悩みが出て来ました。事務所に顔を出すのは良いのですが、親切にされついで長話になって行き、かえって迷惑を掛けている事に気付く邪魔になるのではと思いが増し、だん／＼と足が遠のいて行く

此の頃です。

二十数年も勤めていた所でも退職すると、もう他人、悲しいですね。自分の偏見でしようか。

過日の全国高齢者集会熱気一杯の会場の催し、有難う御座いました。退職を機会に第二の人生をと、最近現在地に家を新築し転居し新しい生活を始めました。家族三人なので家を少し小さく、庭を大きくし、庭いじりを多く取り入れました。庭に野菜を充分に、また植木等で緑を造りました。老人ボケにならない為に、いつも若々しい

健康を第一体力造りと考へています。

自宅の裏が山なので散歩には事欠きません。また交通の便が良いので電車に乗り遠出し、名所等の見物リラックスで歩き廻っています。退職後も病気一つせず毎日毎日が快適感の生活、家内に感謝し

59年度退職共済年金受給状況 (61年3月末現在調)

共済組合名	退職共済年金		
	受給者名	年金額	1人当たり
連合会 (国家公務員)	285,138	564,650,834	1,980,272
国鉄	267,071	554,254,276	2,075,307
電電専	53,967	122,144,309	2,263,315
専売	14,591	29,834,144	2,044,695
国共済合計	620,767	1,270,883,563	2,047,280
地共済連合会	381,626	723,976,038	1,897,083
地方職員	104,358	212,734,686	2,038,509
東京都職員	35,381	72,180,394	2,040,089
指定都市職員	50,281	100,972,482	2,008,164
市町村職員	158,258	274,490,650	1,734,450
都市職員	33,348	63,597,826	1,907,096
公立学校	299,154	716,450,265	2,394,921
警察	74,689	165,330,447	2,213,585
地共済合計	755,469	1,605,756,750	2,125,510
私立学校教職員	14,527	24,280,619	1,671,413
農林漁業団体職員	80,454	112,684,232	1,400,604
総計	1,471,217	3,013,605,164	2,048,375

共に生きる喜を噛しめて、やっと心の落ちつきが始めました。年金生活なので贅沢は出来ませんが、気分的に贅沢な気持を持って今後の生活を喜びで迎へたいと思つて居ります。最後に私の念願の一つ、中国旅行を来年に取り入れて居ります。昭和十六年、軍隊生活で過した懐しい北京に、家内と共に旅行出来るのを実現したいと思つて居ります。

井上さんを、ご存知の方へ
去る五月二十一日、箱根大平荘の第二回総会にご出席、新加入された井上さんを探しています。当事務局受付の不幸で、井上様としか記入しておりませんので、ご存知の方は、井上さんの、氏名・住所・電話番号・退職時職場等お知らせください。

たゆまず、たじろがず、あきらめず
を合言葉に

『全日本自治体退職者会』

第15回定期総会

10月27日

箱根小涌園



ともすれば、退職という二字で空虚におちいり易い心身の危険を助け合い、相寄り、明るい老後社会を築こうと、昭和47年結成された、全国の自治体退職者会は、今年で第15回目を迎え、結成当時一九団体一万二千名の会員が、現在では一四一団体十万余名に達したのを機に、その記念式典を兼ね、神奈川県箱根町のホテル箱根小涌園に於て、全国から代議員約二百五十余名が参集して開催された。神奈川県職労退職者厚生会は、直接会員ではないが、自治労神奈川県本部退職者加入の一員として、間接的に参加して

いる。本県では直接加入団体は横浜市従退、川崎市職退の二団体のみで、いつれ早い機会に直接加入した方が、情報の把握、自治労の退職者共済や、年齢制限なしの老齢者傷害保険などの加入も、容易になつてよいと率直に思ったのである。当日は、河村宏弥副会長（横浜市中出身）の開会あいさつのおと議長団選出、栗山会長挨拶、地元歓迎挨拶（都労退）、来賓挨拶（政党代表）、新加盟団体紹介とつゞく。報告事項では、(1)61年度経過報告、(2)一般会計収支決算報告、退職者火災共済事業特別会計収支決算報告が行わ

れ、議事に入つて62年度運動方針では、老年者年金課税強化反対、年金の上厚下薄の是正、医療の改善→患者負担増額反対などを柱としている。これを賛成多数で可決。ついで62年度一般・事業特別・救援非

ミニ情報 進言・雑言

● 老人ボケ予防のためと思つて読んでね！
老人ボケにはなりたくないと思つても、本人には何時ボケになつたか分らないのだから始末がわるい。妻からあなたノ少しボケたわぬノと叱られるが、妻も時々電燈を消すのを忘れたりしている。

医学情報によれば、老人ボケには、二種類の症状群があつて、その一つは現在、原因がほゞ解明され、数年以内には薬が開発されるそうである。

ある学者によれば、老人ボケは、情報不足病ともい、朝起きて何もしないでいると、ボケやすいことは知られている。長生きする職業に、画家、音楽家、そして大学教授など教職にある人が多いが、これは、頭、手足を常に働かしているためである。医者などは長生してもよさそうだが、年中患者の憂うつな顔に接し、病困の中で生活していると不摂生になり、「医者の不養

常斗争資金予算(案)、第3号議案では役員改選及び顧問推薦・第4号議案では宣言案をそれぞれ可決して閉会した。引続いて別会場で、功労者の表彰式があり、祝賀パーティーのあと散会した。

生」といわれるようにストレスも一因かも知れない。私のさ、やかなボケ予防法は常に忙しくするようにし、暇をつくらないようにしている。政治経済に関心があるので、毎日、新聞は二、三紙には目を通して。なかなか有益な記事が多い。スポーツ紙を買ったことはないが、品のないピンク記事に苦笑をしながら、でも読んでみるのも知識が豊富になる。月刊雑誌など肩のこらない読みたい記事をみつけて買って読むこともたのしい。

情報不足といえ、生涯を官公庁で過した人は、倒産もなく、公共の仕事についていた為に、物事を公正に判断できる長所はあるが、中には、「井戸の中の蛙、大海を知らず」で、退職して退屈している時に案外マンマとグマカされるケースがある。

善良な為に悪知恵のあるセールスマンにうまくやられている。情報不足のためであろう。かの豊田商事をトヨタ自動車に関連企業と思つたり、鹿島商事

(前頁からつづく)

を鹿島建設の子会社と信用してしまふ。

今後円高ドル安で国内不況で解雇が増加し、ます／＼功妙な詐欺まがい商法が流行しよう。くれ／＼もご用心を。

● 金融機関も低金利時代、金アマリ現象を反映して、その経営態度に非難の

声が以前から多い。かつては貸出先をサラ金業者に多くして世論や大蔵当局の指導で下火になったが、また最近では大手企業関連の不動産会社や、高利に目がくらんで悪質不動産業者に貸付け、大都市の地価暴騰に拍車をかけている実態は、先日ので放映された社会問題になっている。三十、四十年も勤めて○千万円という一生一度の退職金を手にしても兎小屋程度の土地付住宅かマンションもこんな時代にはなかなか買うことが出来ない。銀行などの金融機関を信用して貯金しても、裏でこんな貸付をされては、自分で自分の首を締めているといつてよい。

当県職労退職者厚生会が労働金庫や全労済と協力しているのも、こんな実態が分っているからである。この両機関には広告面でご協力をいたゞいてい。労働金庫の前広告の「アドバイザー制度」がよく分らないとご指摘を受けるが、要は事前に会員から労金へアドバイザーの推せん(申し出)をいたゞき、労金から会員の方に委嘱(登録)をし、本人は勿論、家族、友人など一人

でも多くの人に、年金の労金指定口座を開設していただくもので、指定口座を労金が確認した際に手数料を支払うというものである。

本支店の近くにお住いの会員は是非参加、利用いたゞければ、若干の内職程度のお役に立つのではないかと思われる。

● 火災や生命保険は、民間より火災共済、生命共済など共済事業に加入した

方が非常利なので安いことはよく知られている。同じ共済事業でも、労働団体が設立した全労済が、掛金が安い。事務局の調べたところ、若干条件に違いはあるが火災共済については建物は、共済金一口十万円に対し年掛金で、全労済木造80円鉄筋40円、県民共済、木造130円耐火造40、70円、横浜市民共済木造130円耐火造50、100円であった。また生命保険は種類が多く、それ／＼一長一短があるが、注意すべきことは、高齢になつて加入すると、一年毎に加入条件も悪くなり、掛金も勿論高くなるので、退職前の在職期間中に、民間生保を含めてもよいから、広く資料をとりよせて検討し加入されることをおす、めした。とくに、高齢になると病気になる、りやすく、健康保険以外の負担がますます多くなるので、医療費給付の生命共済、又は生命保険に加入することをおす、めする。

昭和60年度の厚生省調査によれば、

国民の七・八人に一人が病気やケガをし人口千人当りの有病率は、これまでの最高の一四五・二に達し、65才以上では、五二・二・四にもなり、ほゞ二人に一人以上が病気を患っているという結果がでてくる。(K)

◎ 神奈川県労働金庫

『年金アドバイザー制度』のご利用を!!

神奈川県労働金庫では「年金アドバイザー制度」を設け、公的年金の指定口座獲得を推進しています。ご参加、ご利用ください。

とくに労働金庫、本・支店所在地にお住いの方には是非口座を開設していただくようお願い申し上げます。

なお詳細につきましては、労金本・支店までお問合わせください。

あなたも、労金の「年金アドバイザー制度」で内職的にでも働いてみられては如何ですか。

＜神奈川県労働金庫店舗ご案内＞

最寄りの「ろうきん」店舗は、みなさんのご相談相手としてご利用ください。

神奈川県労働金庫は、退職後の豊かな生活のお手伝いをさせていただきます。

- 公的年金の指定口座には、総合口座通帳が便利です。普通預金、定期預金、積立預金がセットされています。
- 各種年金のお受け取り、公共料金などの自動振替にも総合口座(普通預金)が便利です。
- 総合口座には、キャッシュカードがご利用できます。
- また不意の出費にも定期性預金の90%の範囲内(最高200万円)まで自動融資も受けられます。

本店営業部	☎045(681)8851
見支店	☎045(521)0721
新横浜支店	☎045(472)3381
杉田支店	☎045(774)1212
星川支店	☎045(331)1551
戸塚支店	☎045(861)2111
川崎支店	☎044(244)8331
川崎南支店	☎044(277)8211
中原支店	☎044(733)0161
新百合丘出張所	☎044(989)1111

横須賀支店	☎0468(23)1770
大船支店	☎0467(46)6291
湘南支店	☎0466(27)8811
平塚支店	☎0463(23)2511
小田原支店	☎0465(24)3322
相模原支店	☎0427(72)10451
座間支店	☎0462(55)1155
秦野支店	☎0463(82)8311
厚木支店	☎0462(22)1511
茅ヶ崎支店	62年2月開店予定

『退職者組合』

昭和47年1月6日付朝日新聞「今日の問題」

全日本自治体退職者会

結成15年史から―

かねてから、厳しいこれからの高齢者社会に於ては、退職者会はたゞ単なる親睦のみの集りでは、力不足で、不安の念を禁じ得ないと、思っていた。この意味から県職労退職者厚生会は、親睦的・労働的・福利厚生の三つの要素を含んだ退職者の団体として意義づけられるのが、将来の布石としてもよいと感じていたのである。

たまたま、「全日本自治体退職者会」結成15年史から、今から十五年も前の昭和47年1月6日付の朝日新聞朝刊登載の「今日の問題」に「退職者組合」首題のもとに上のような記事があったことを知って、今日でも十分に通用する論説に魅せられたので、再掲して読者の感想を得たい。(K・K)

今日の 問題

珍しい「労働組合」が、わが国に誕生した。「全通退職者組合」がそれである。

日教組、国労、合化労連、自治労などの労組には以前からOB会がある。だがいずれも親ぼく会的なもので、「組合」と銘打

退職者組合

るところが「政

ち、活動方針まで揚げて結成された退職者組織は、これが初めてだ。

郵政の定年退職者は約三万人だそうだが、発足時の組合員は約三千人。来年には五千人にふやすという。新役員には全通の元闘士もいて、組織運営はお手のもの。年間五百円の組合費を決め、独自の組合バッチも制定した。

そうはいっても、さし当りは資金面も含めて、なにかと全通にオンブすること

も多いそうで、正確には「独立の組合」というより、全通の退職者部会といった方がいいのかもしれない。

「敬老の日」に持上げられてはみても、いまほど高齢者、老人が粗末に扱われている時代はあるまい。深い疎外感にとらわれているのは若者たちだけではないのである。定年退職者の八割もが「生活に困るから」と、現在就業中が再就職を強く望んでいる。

「治」は圧力がないと動きださない。「後の生活保障は他人まかせにはできないもう黙っておられない」と老人バワーが立上ったのは大いに結構なことだ。

ところが「政

「退職者組合」の結成は、労働組合にも教訓を与えたはずである。勤労者は、定年になると会社からも労組からも放り出されてしまう。どんなに苦しいことや悩みがあっても、労組はあてにできない。

現在、六十歳以上の人たちは千四百四十万人いる。二十年後には二千万人を超すという。サラリーマンにとっては人ごとではないのである。

い。教訓とは「労働運動というものは現役を守るだけではなく、やめていった人たちにまで手を差し伸べないと完結しない」ということだ。

「年金制度の改善」「医療保障の充実」「年金の免税」「福利厚生施設や労働金庫の利用」などだ。

以上は要求が横断的なものだから、理窟の上からは「企業別でなく、地域別の退職者組織をつくれ」というのが正しいかもしれない。しかし、それではいつになったら組織ができるか分らない。全通をきっかけに、どんどん退職者組合の

結成を期待したい。

● 県職労中高年部総会
とき 昭和62年1月23(金) 24日(土)
ところ 箱根大平荘

● 耳寄りなお話し
航空運賃が割引になります。
国内主要幹線の航空料金が片道分約二割強引きになります。
ご利用になりたい会員の方は、県職労本部厚生部の方へご相談下さい。
電話 (045) 1120111
県庁内線 七九三三八

編集・発行者 県職労本部内 退職者厚生会
発行人 秦謙治郎
発行日 61.12.1
No. 5
横浜市 中区本町4~7
Tel 045-201-3179(直通)
045-201-1111
(内線7953)